

住民アンケート調査結果(概要)

<目次>

I. 調査の概要

II. 属性

III. 現在の太子町について

1. まちの印象、2. 住みやすさ、3. 居住意向
4. 住み続けたい理由、5. 住み続けたくない理由

IV. 現在の太子町のまちづくりについて

1. 医療、福祉、健康、2. 安心・安全、都市基盤、環境
3. 産業、雇用、観光、4. 人権、教育、文化
5. 協働、行政経営、情報化

V. 今後の太子町のまちづくりについて(充実してほしい施策)

1. 子育て、2. 学校教育・生涯学習、3. 健康づくり
4. 地域福祉、5. 安全・安心、住環境、6. 働く場、交流

I. 調査の概要

調査目的

- 本調査は、太子町住民の意識を把握し、第6次太子町総合計画の策定作業の基礎資料とすることを目的とする。

調査期間

- 令和6年8月23日（金）～令和6年9月11日（水）

調査対象

- 18歳以上の太子町在住の住民

調査方法

- 住民基本台帳から2,000人を無作為抽出し、アンケート調査票を郵送配布。アンケート調査票は、郵送回収またはWEBによる回答
- 太子町ホームページにアンケート調査票を記載し、直接、WEBにより回答

調査規模・回収状況

- 配布数2,000部、回答数684件

■回収状況

| 分類 | | 回答者数 | 割合 |
|-----|------|------|--------|
| 紙 | | 539 | 78.8% |
| WEB | 対象者 | 83 | 12.1% |
| | 非対象者 | 17 | 2.5% |
| | 不明 | 45 | 6.6% |
| | 小計 | 145 | 21.2% |
| 合計 | | 684 | 100.0% |

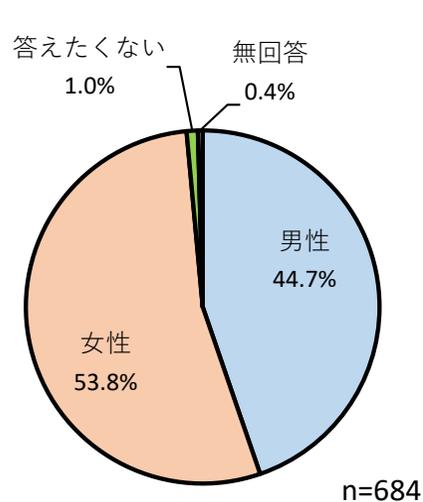
※紙：郵送で回答を依頼し、郵送で帰ってきた人

※WEB

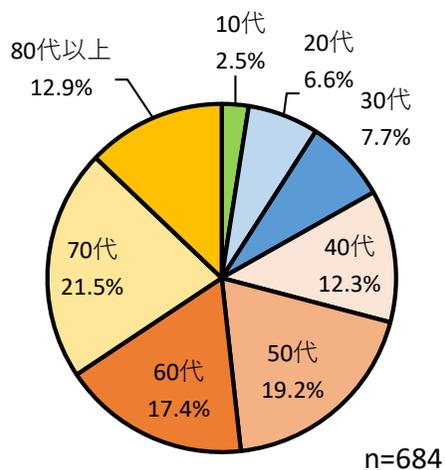
- 対象者：郵送で回答を依頼し、WEBで帰ってきた人
- 非対象者：HPを見て回答した人
- 不明：HPで対象者、非対象者設定をする前に回答した人

II. 属性

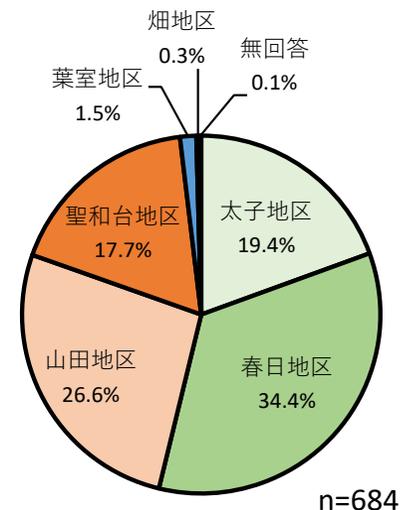
- 回答者の半分以上が60歳以上である。



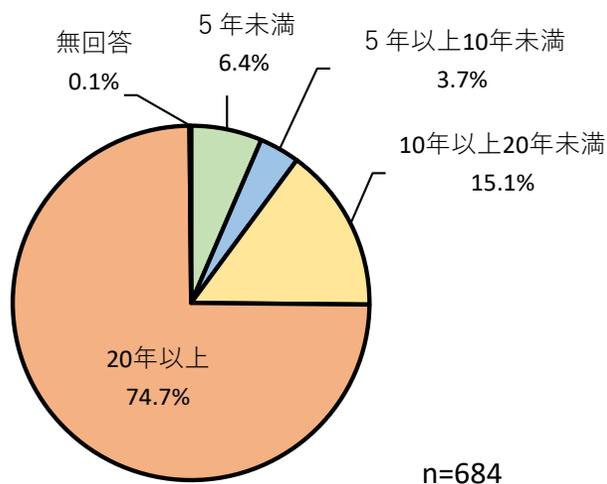
■性別



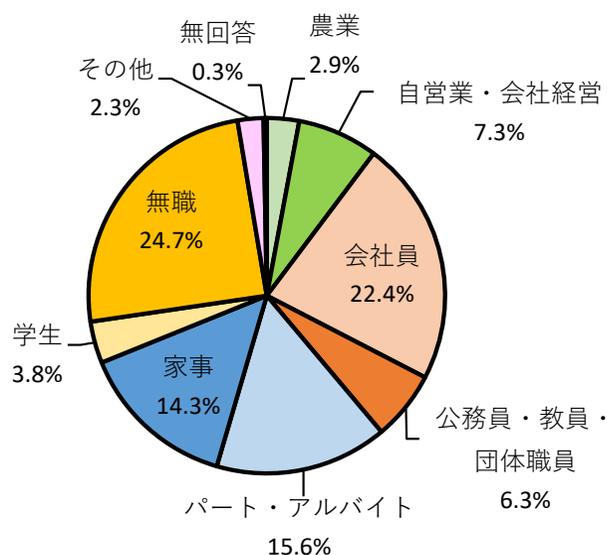
■年齢



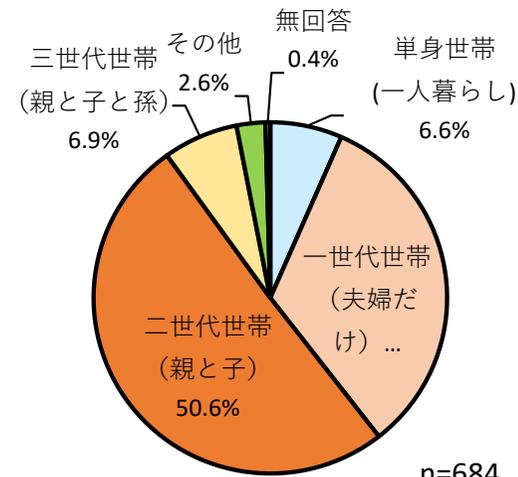
■住まい



■居住年数



■職業

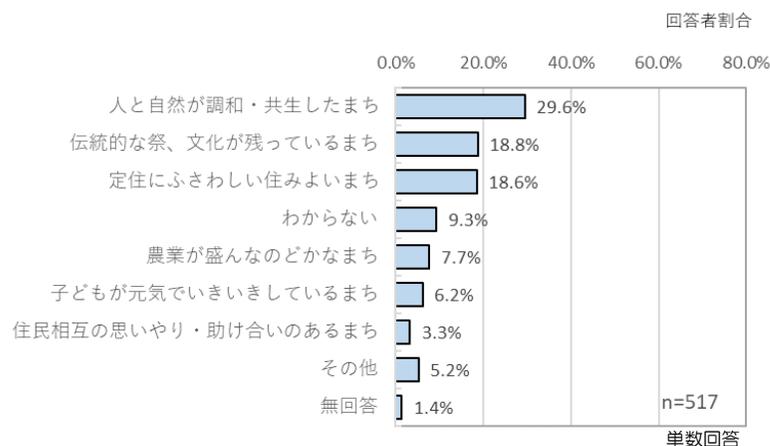


■家族構成

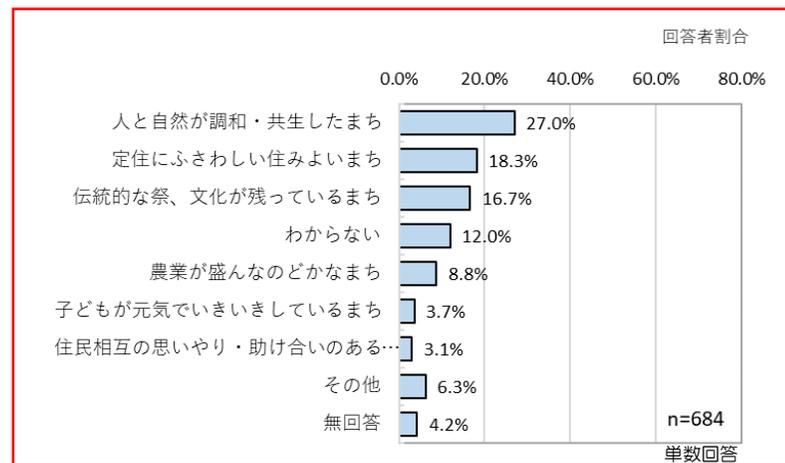
Ⅲ. 現在の太子町について

1. まちの印象

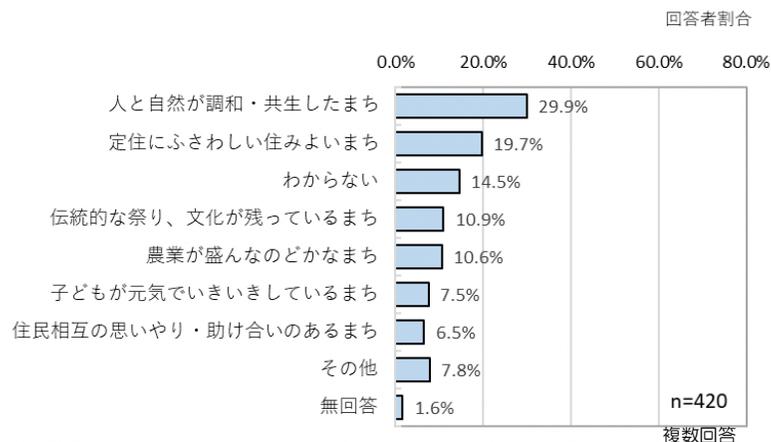
- 太子町の「まちの印象」は、「人と自然が調和・共生したまち」の回答が最も多く、過年度の調査結果と比較しても大きな変化は無い。



■平成26(2014)年調査



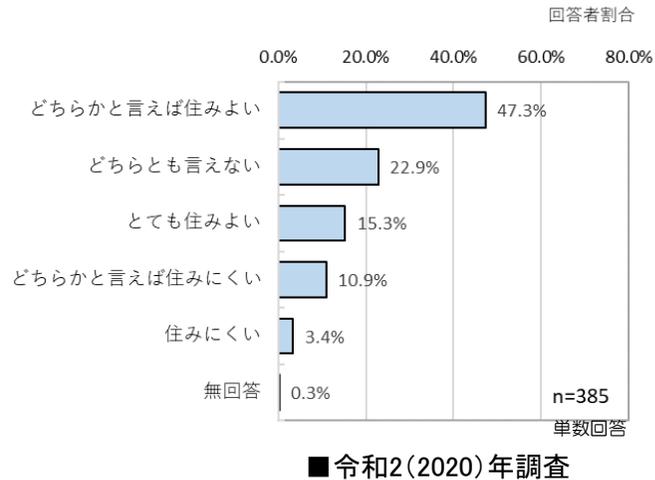
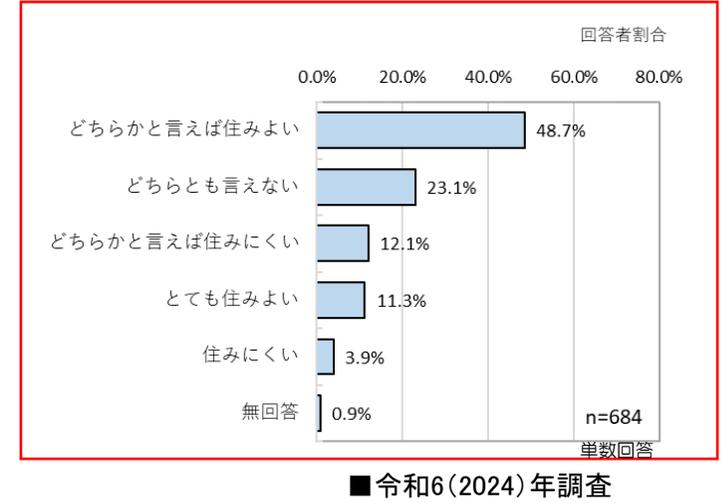
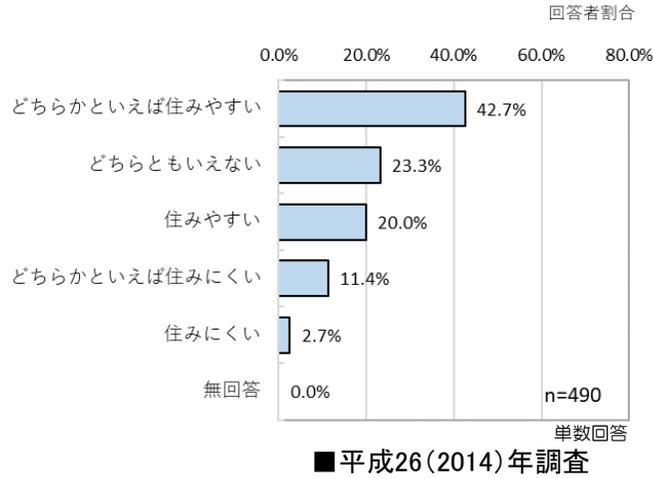
■令和6(2024)年調査



■令和2(2020)年調査

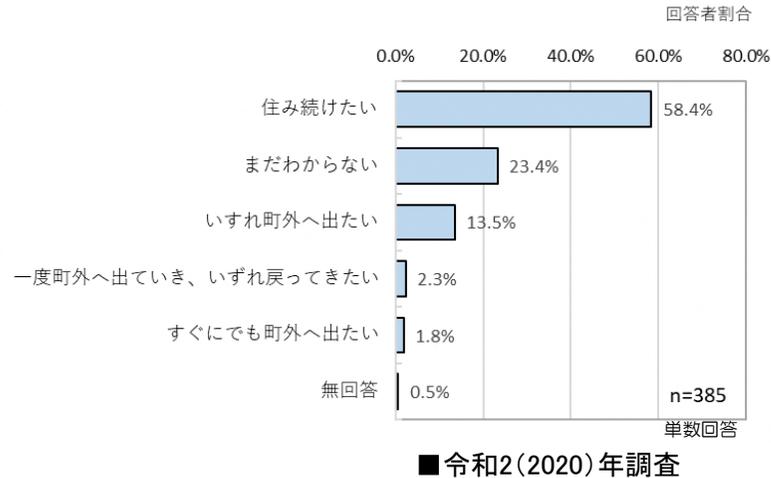
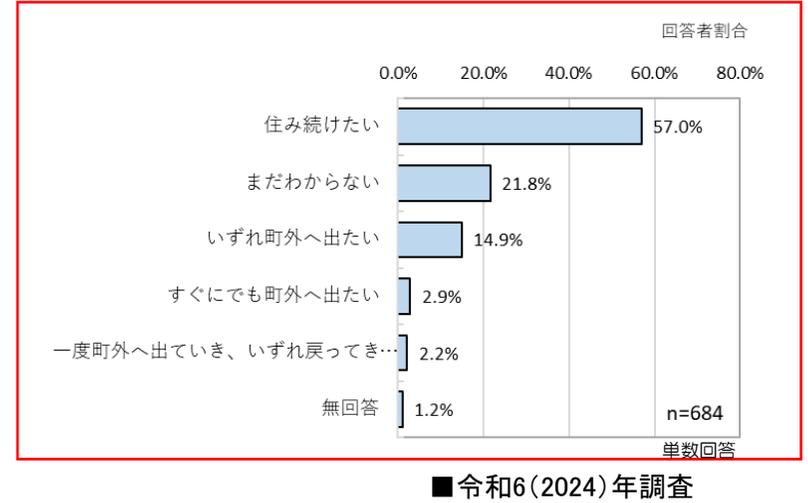
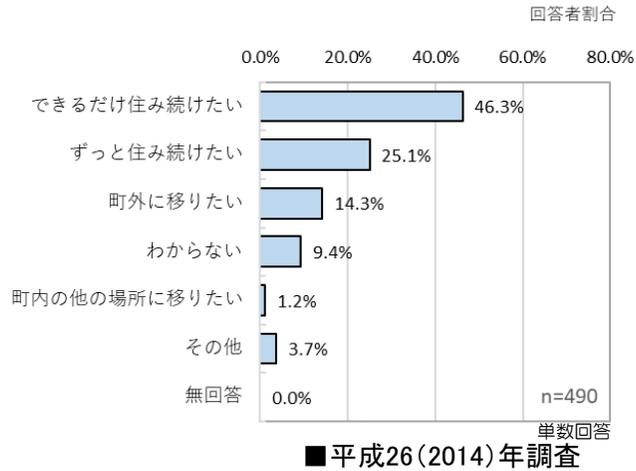
2. 住みやすさ

- 太子町の「住みやすさ」は「どちらかといえば住みよい」の回答が最も多く、過年度の調査結果と比較しても大きな変化は無い。



3. 定住意向

- 太子町の「定住意向」は「住み続けたい」の回答が最も多く、過年度の調査結果と比較しても大きな変化は無い。

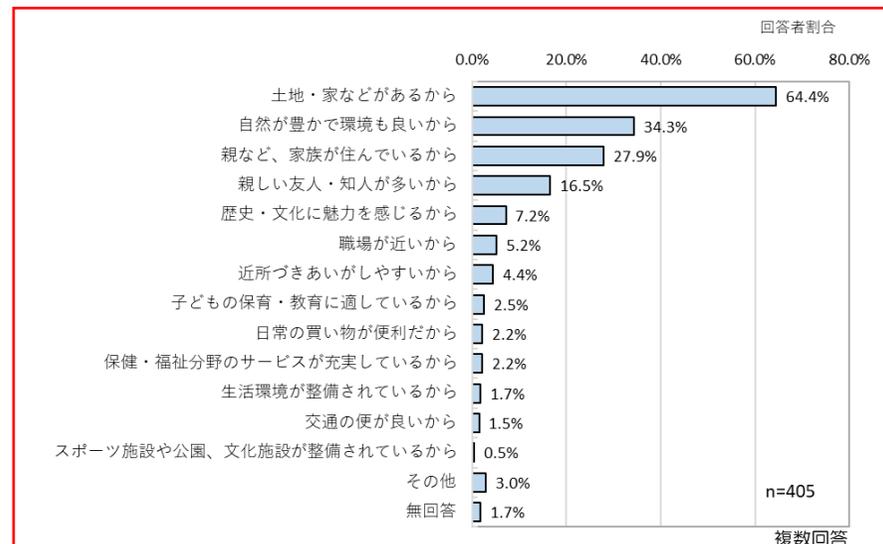


4. 住み続けたい理由

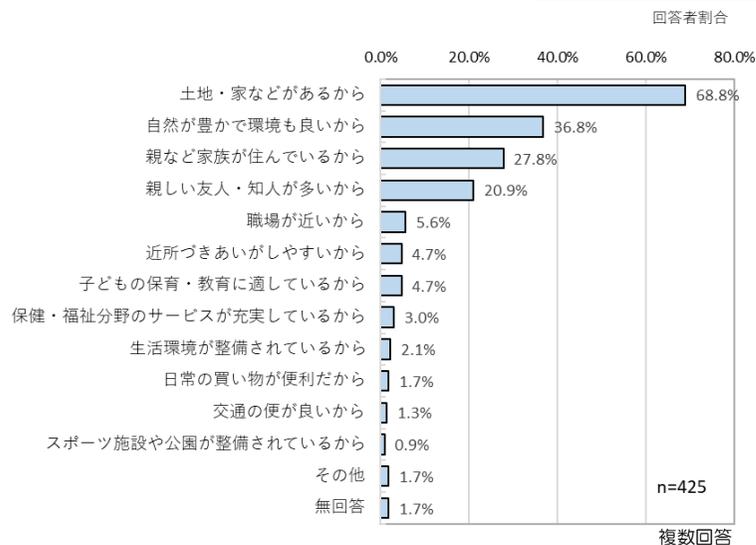
- 「住み続けたい理由」は「土地・家などがある」の回答が最も多く、過年度の調査結果と比較しても大きな変化は無い。

※この年の調査では、当設問は無かった。

■平成26(2014)年調査



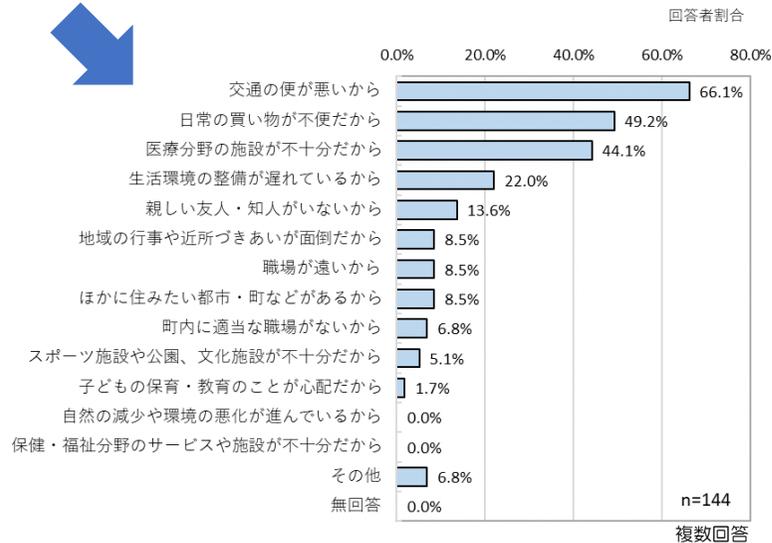
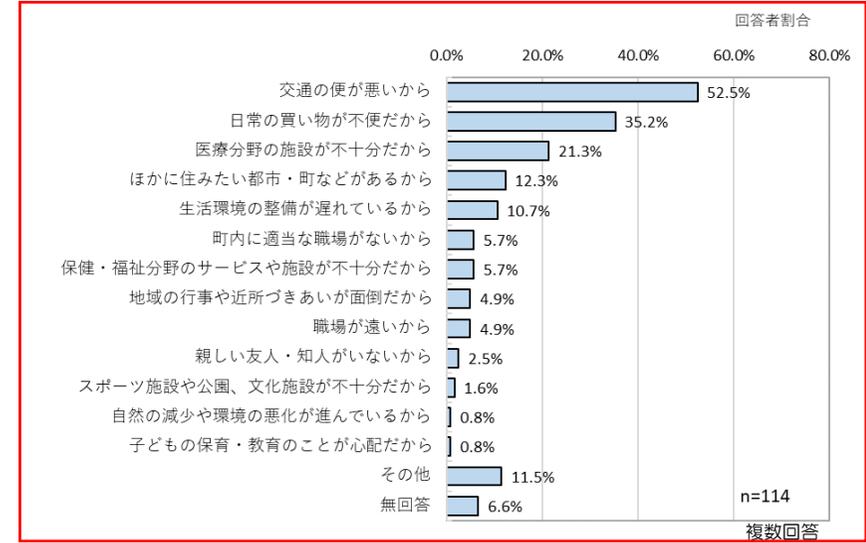
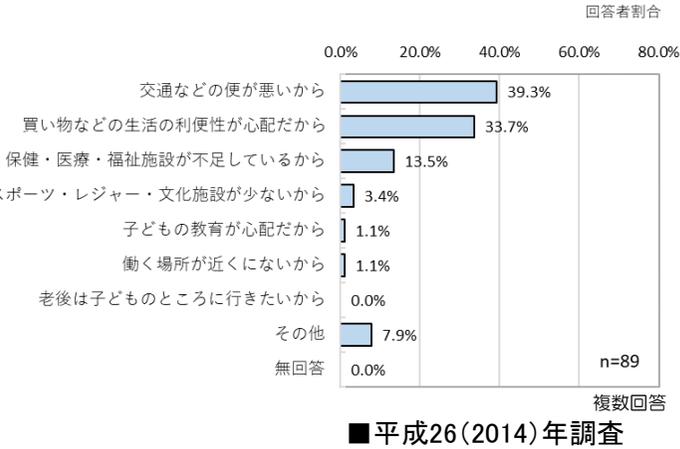
■令和6(2024)年調査



■令和2(2020)年調査

5. 住み続けたくない理由

- 「住み続けたくない理由」は「交通の便が悪いから」の回答が最も多く、過年度の調査結果と比較しても大きな変化は無い。



IV. 現在の太子町のまちづくり

1. 医療、福祉、健康

スコア分析

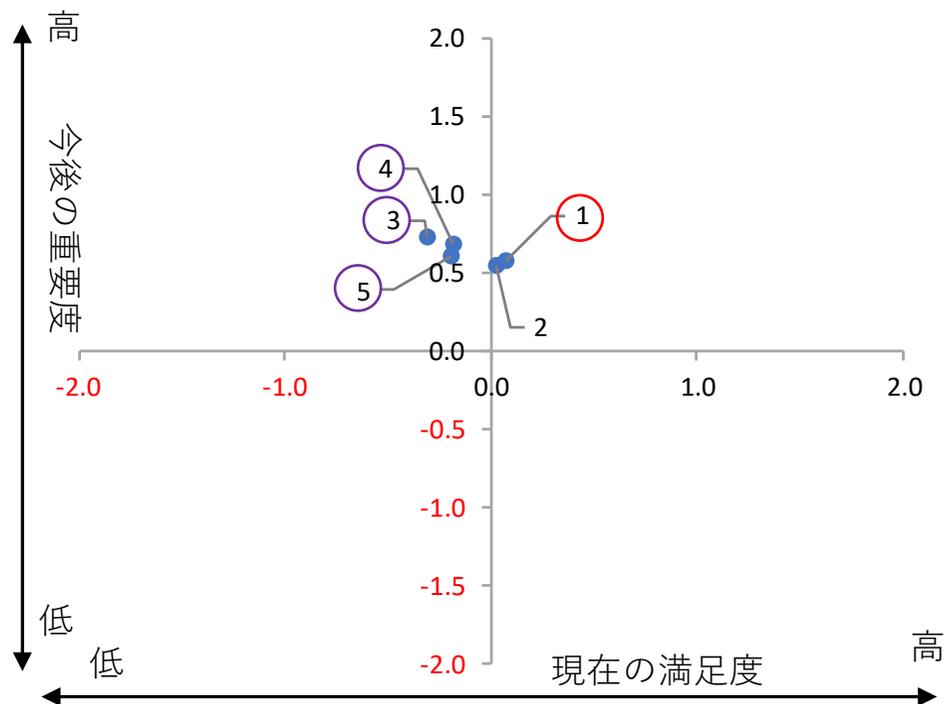
- 重要度は全体に高い。
- 最も重要度が高かったのは、「医療サービス施策」(番号3)である。
- 「子育て施策」(番号1)はやや満足度が高いが、「医療サービス施策」(番号3)、「高齢者施策」(番号4)、「障がい者施策」(番号5)は満足度が低い。

<スコア分析とは>

- 各種取り組みに対する回答について、以下のように点数化し、平均値を算出したうえで、散布図を作成し、その傾向を分析するものである。

■ 点数表

| 現在の満足度 | | 今後の重要度 | |
|--------|-----|-----------|-----|
| 満足 | 2点 | 重要 | 2点 |
| やや満足 | 1点 | やや重要 | 1点 |
| 普通 | 0点 | どちらでもない | 0点 |
| やや不満 | -1点 | あまり重要ではない | -1点 |
| 不満 | -2点 | 重要ではない | -2点 |



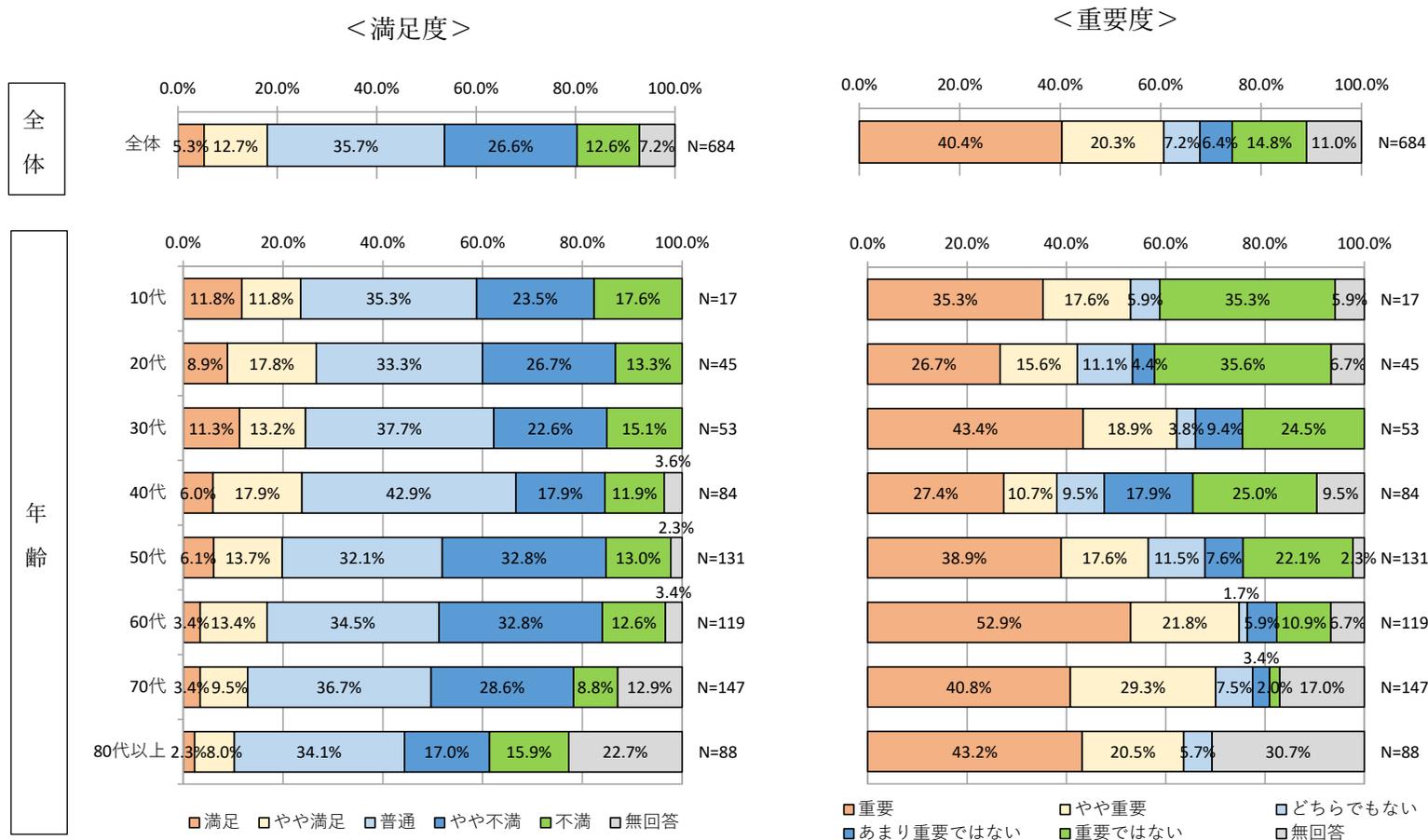
■「医療、福祉、健康」スコア分析

■「医療、福祉、健康」満足度、重要度平均値

| | 現行計画の取組 | 現在の満足度 | 今後の重要度 |
|---|------------------------|--------|--------|
| 1 | 安心して子育てができる環境整備 | 0.07 | 0.58 |
| 2 | 健康づくりに取り組みやすい環境整備 | 0.03 | 0.55 |
| 3 | 身近に必要な医療サービスが受けられる環境整備 | -0.31 | 0.73 |
| 4 | お年寄りが健康でいきいき暮らせる環境整備 | -0.18 | 0.68 |
| 5 | 障がい者が自立して暮らせる環境整備 | -0.19 | 0.60 |

「身近に必要な医療サービスが受けられる環境整備」

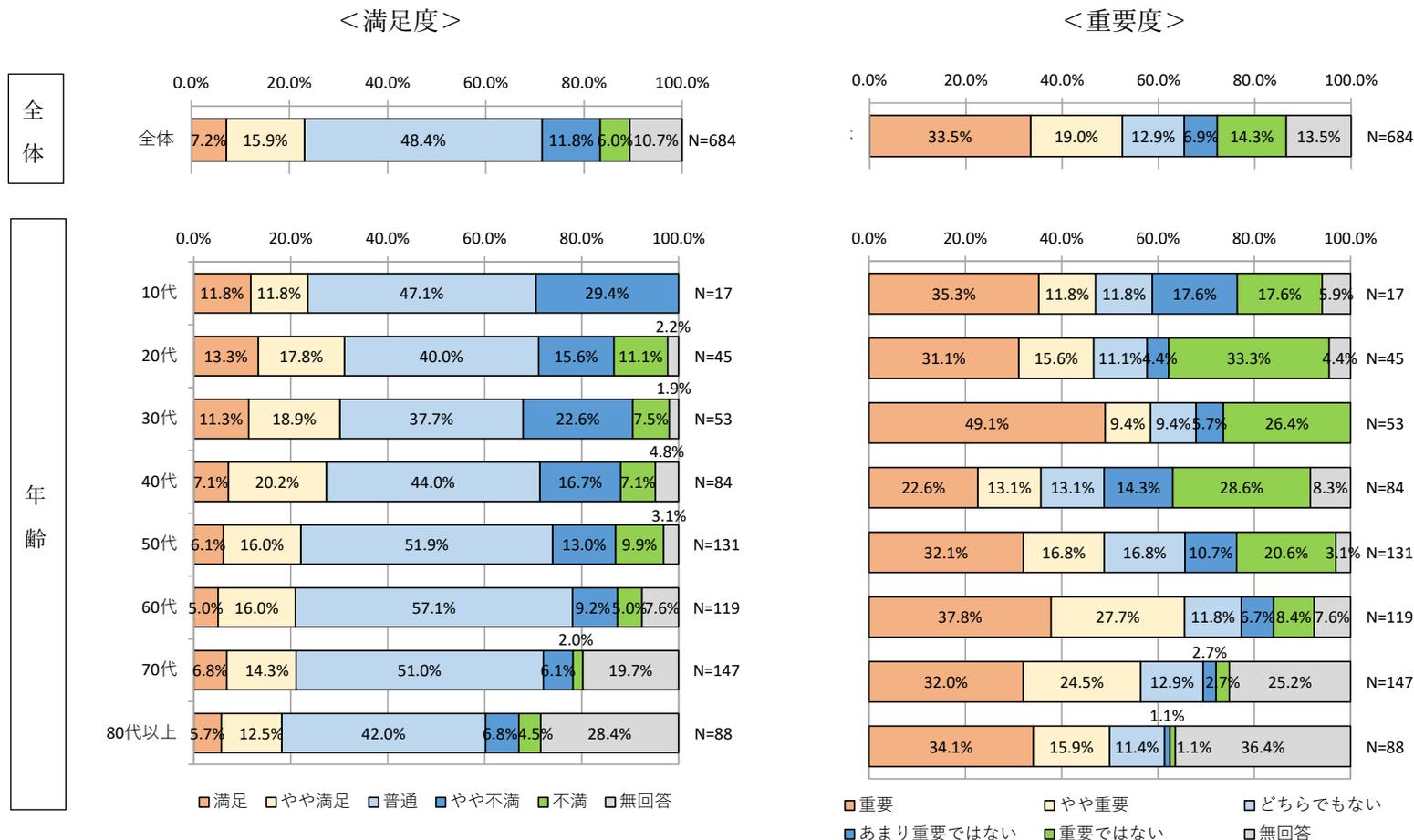
- 重要度がもっと高かった「医療サービス施策」については、高齢者ほど満足度が低い傾向にある。



■「身近に必要な医療サービスが受けられる環境整備」年齢別集計

「安心して子育てができる環境整備」

- 「子育て施策」については、20~40代の満足度が比較的高い。



■「安心して子育てができる環境整備」年齢別集計

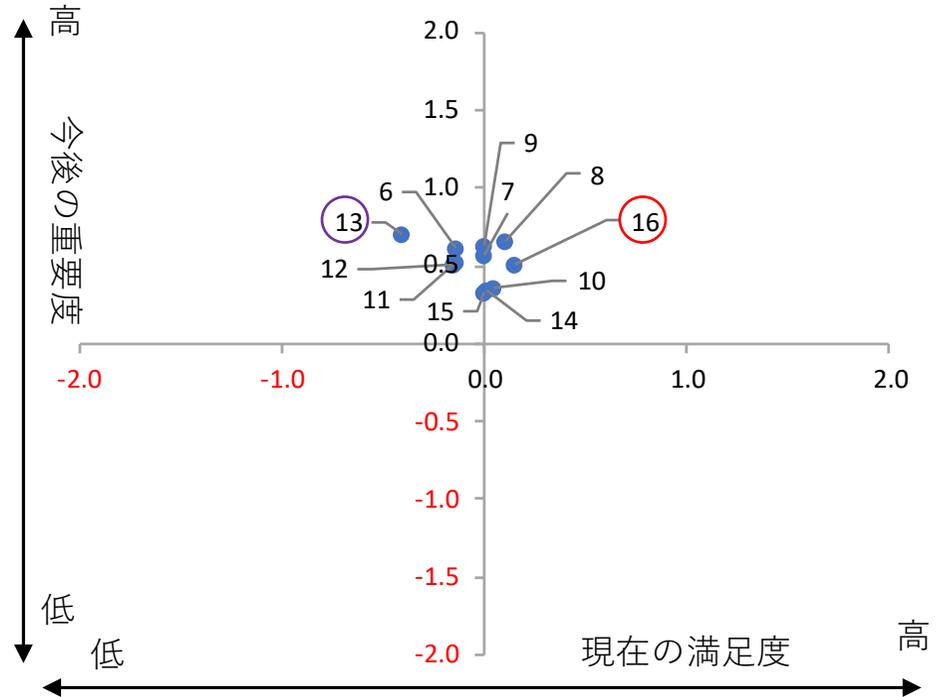
2. 安心・安全、都市基盤、環境

スコア分析

- 重要度は全体に高い。
- 最も重要度が高かったのは、「公共交通施策」（番号13）であるが、満足度は最も低い。
- 「環境施策」（番号16）等はやや満足度が高い。

■「安心・安全、都市基盤、環境」満足度、重要度平均値

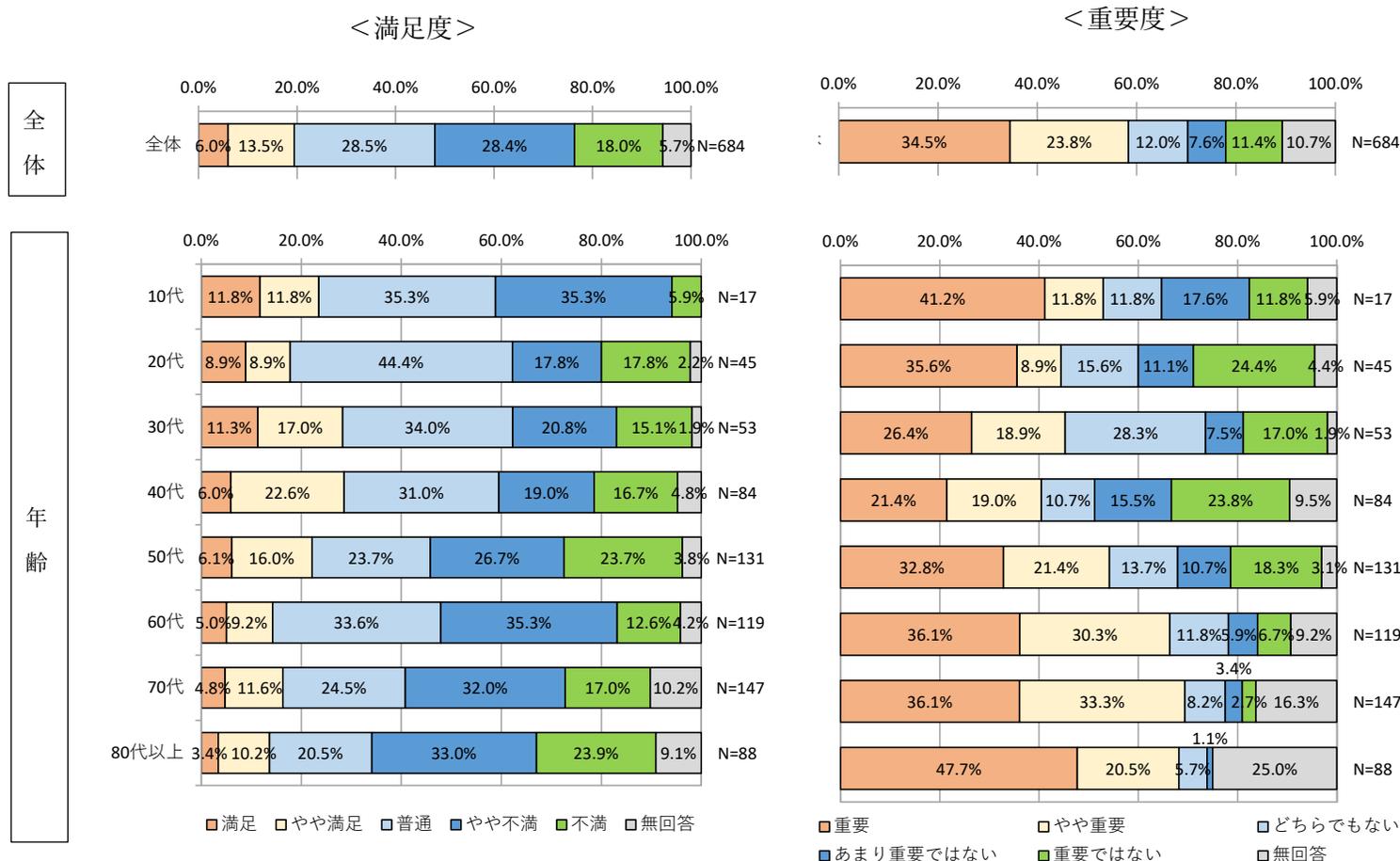
| | 現行計画の取組 | 現在の満足度 | 今後の重要度 |
|----|------------------------------|--------|--------|
| 6 | 建物や道路・橋梁、下水道などの老朽施設に対する保全や更新 | -0.14 | 0.61 |
| 7 | 犯罪の防止や交通安全対策の取り組み | 0.00 | 0.58 |
| 8 | 消防・救急の体制整備 | 0.11 | 0.66 |
| 9 | 防災対策など安心して暮らせるまちへの取り組み | 0.00 | 0.63 |
| 10 | 景観まちづくりや緑のまちづくりの推進 | 0.05 | 0.36 |
| 11 | 身近な道路の安全や快適さ向上への取り組み | -0.14 | 0.52 |
| 12 | 町内外を結ぶ主要道路の便利さ向上への取り組み | -0.15 | 0.51 |
| 13 | バスなど公共交通機関の便利さ向上への取り組み | -0.41 | 0.70 |
| 14 | 山林や緑などの自然環境の豊かさを守る取り組み | 0.00 | 0.35 |
| 15 | 憩い、交流の場となる公園や広場などの環境整備 | -0.01 | 0.33 |
| 16 | ごみの減量やリサイクルなど環境への配慮の取り組み | 0.14 | 0.51 |



■「安心・安全、都市基盤、環境」スコア分析

「バスなど公共交通機関の便利さ向上への取り組み」

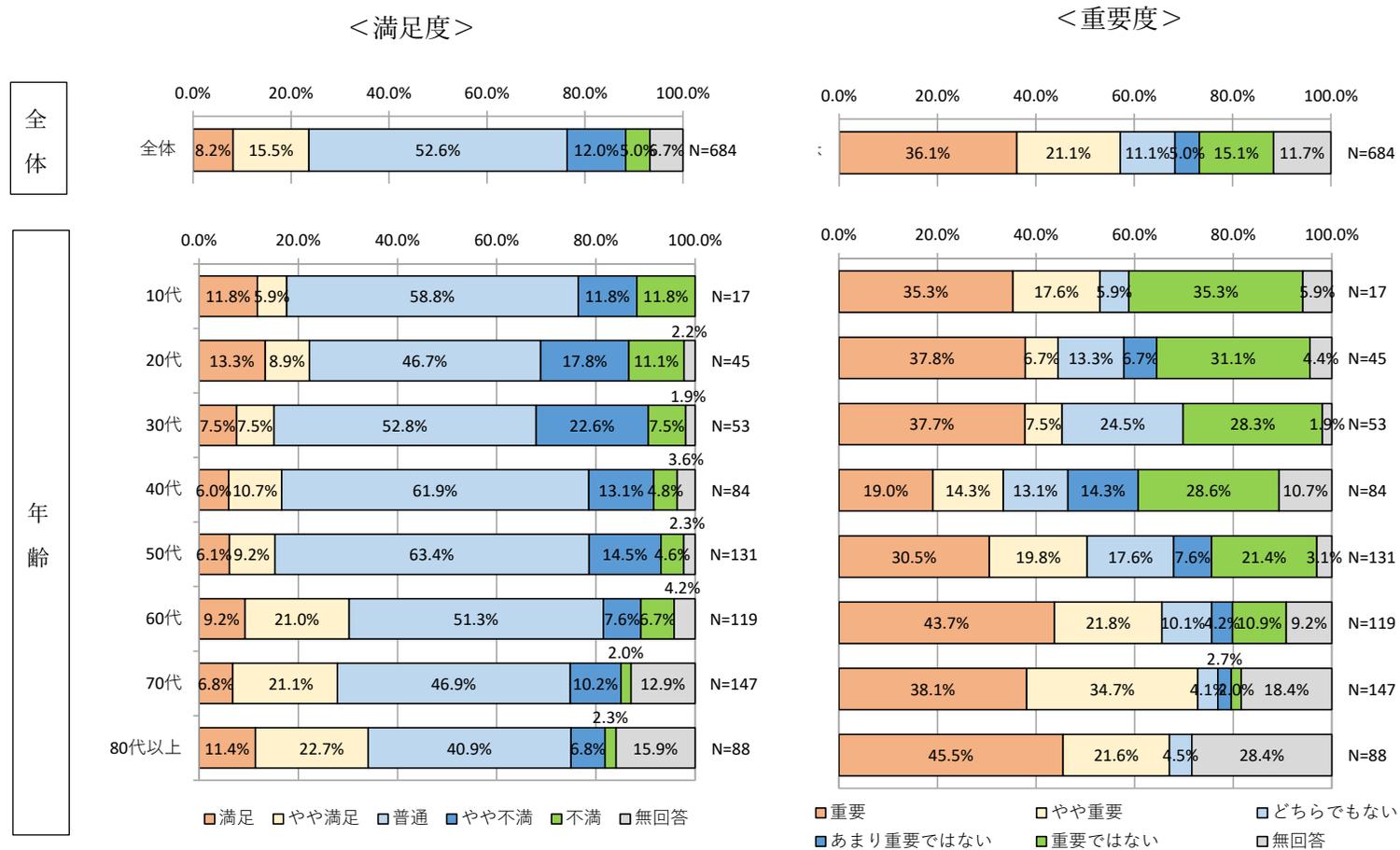
- 重要度がもっと高かった「公共交通施策」については、10代や高齢者ほど重要性を感じているが、高齢者ほど満足度が低い傾向にある。



■「バスなど公共交通機関の便利さ向上への取り組み」年齢別集計

「消防・救急の体制整備」

- 2番目に重要度が高かった「消防・救急施策」については、年齢による満足度の差はあまりない。

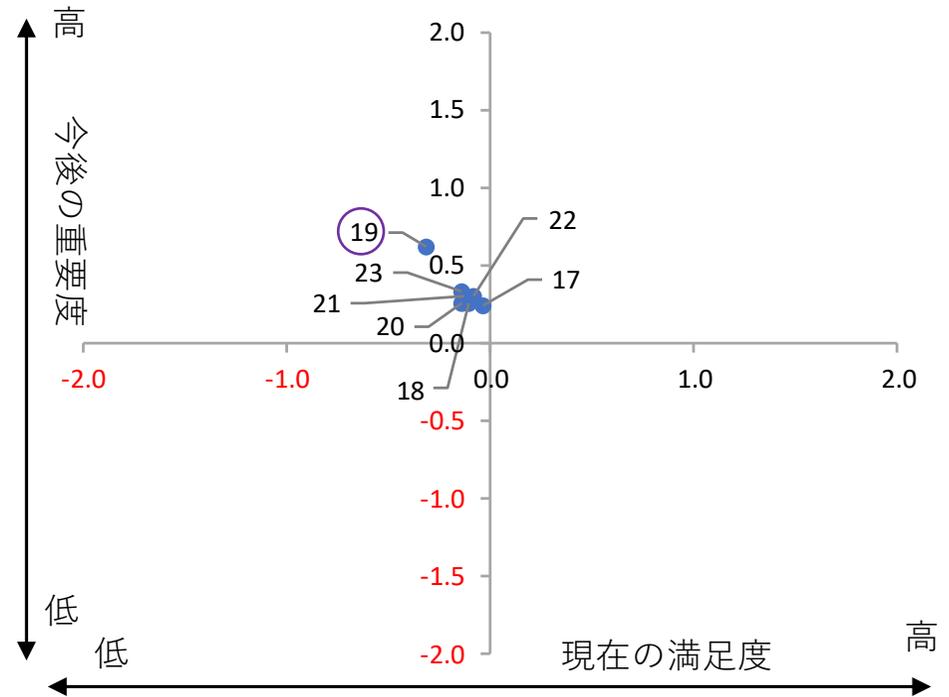


■「消防・救急の体制整備」年齢別集計

3. 産業、雇用、観光

スコア分析

- 重要度は全体に高いが、満足度は低い。
- 最も重要度が高かったのは「買い物などの利便性施策」（番号19）であるが、満足度は最も低い。



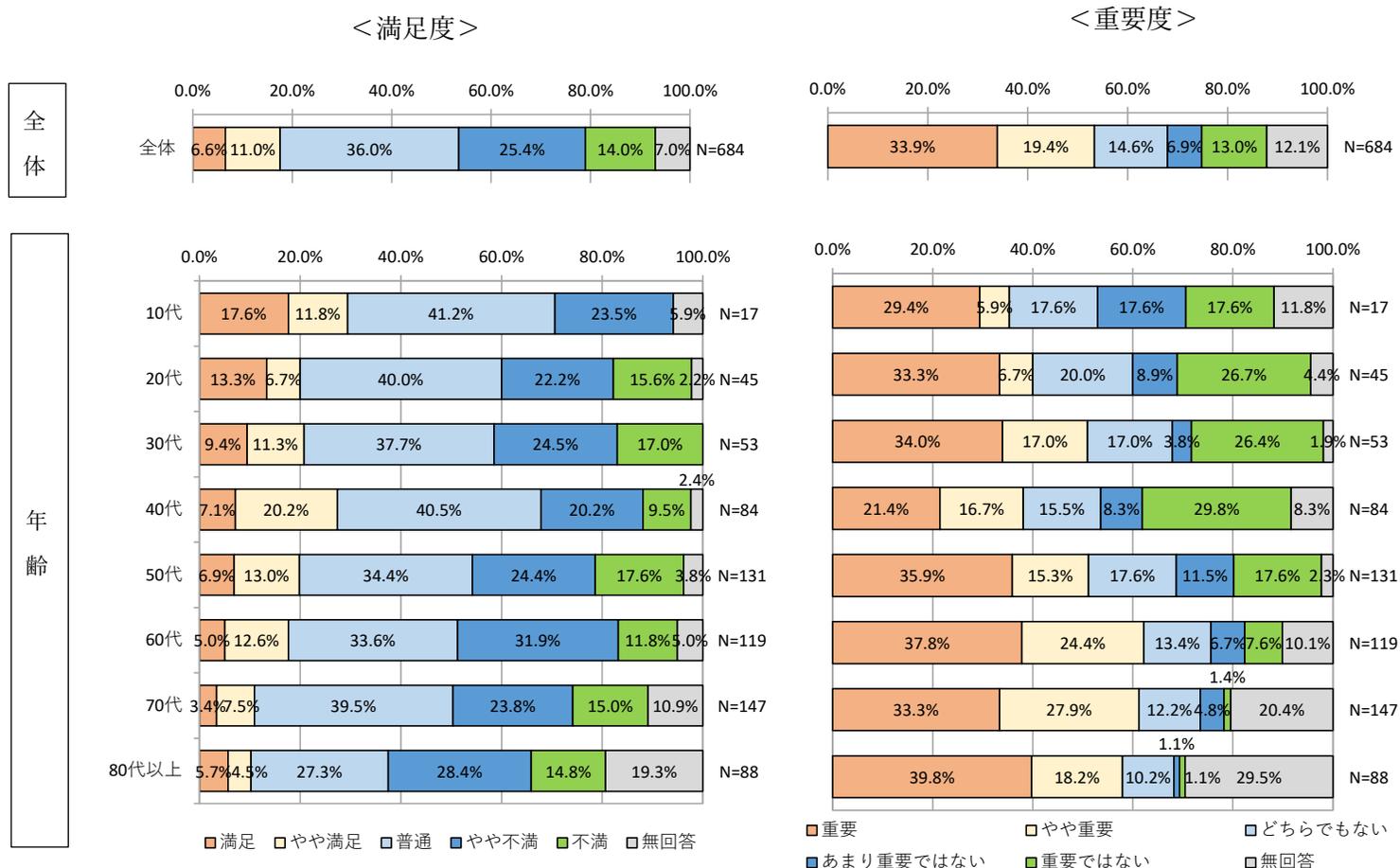
■「産業、雇用、観光」満足度、重要度平均値

| | 現行計画の取組 | 現在の満足度 | 今後の重要度 |
|----|--------------------------|--------|--------|
| 17 | 農業振興の取り組み | -0.03 | 0.24 |
| 18 | 商工業振興の取り組み | -0.10 | 0.27 |
| 19 | 買い物など日常生活の利便性向上への取り組み | -0.32 | 0.62 |
| 20 | 観光振興の取り組み | -0.14 | 0.27 |
| 21 | 太子町のよさのPRなど外部への情報発信の取り組み | -0.13 | 0.31 |
| 22 | 消費者保護の取り組み | -0.08 | 0.30 |
| 23 | 就労支援の取り組み | -0.14 | 0.33 |

■「産業、雇用、観光」スコア分析

「買い物など日常生活の利便性向上への取り組み」

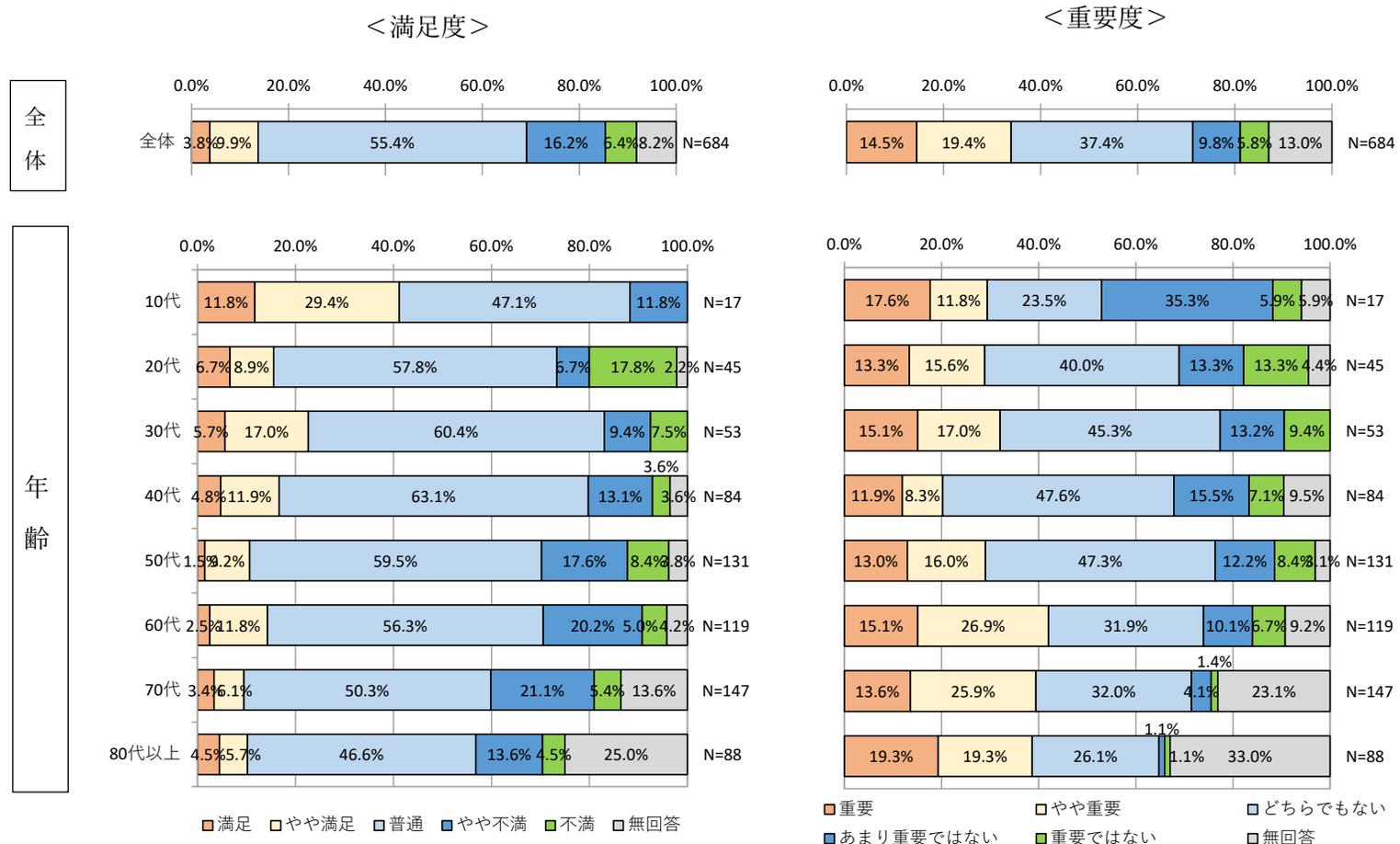
- 重要度がもっと高かった「買い物などの利便性施策」については、高齢者ほど重要性を感じているが、高齢者ほど満足度が低い傾向にある。



■「買い物など日常生活の利便性向上への取り組み」年齢別集計

「太子町のよさのPRなど外部への情報発信の取り組み」

- 2番目に重要度が高かった「情報発信施策」については、高齢者ほど重要性を感じているが、高齢者ほど満足度が低い傾向にある。

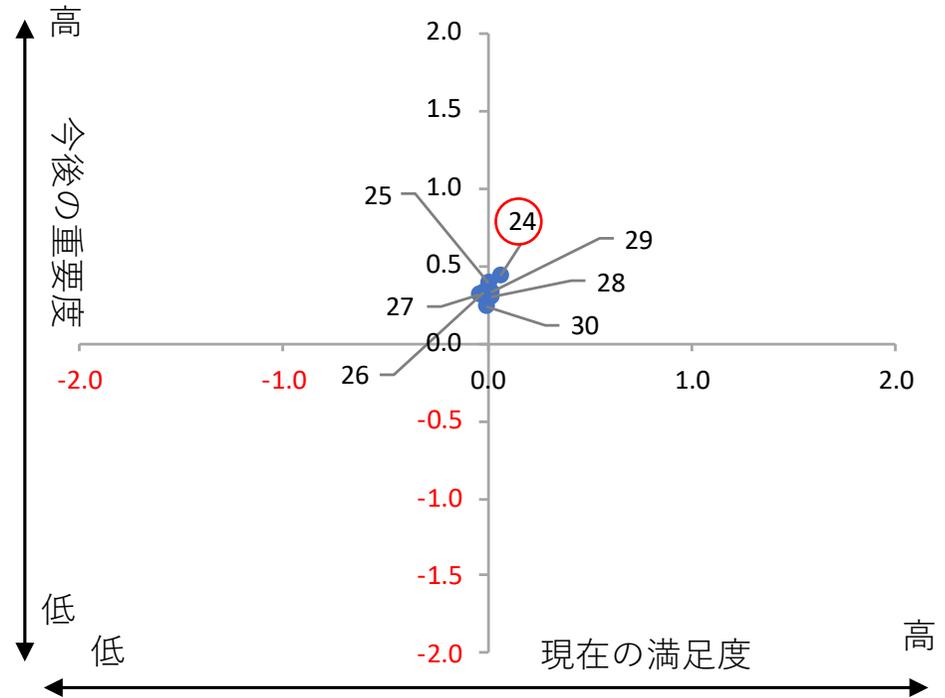


■「太子町のよさのPRなど外部への情報発信の取り組み」年齢別集計

4. 人権、教育、文化

スコア分析

- 重要度は全体に高いが、満足度は中央（普通）に集まりがちである。
- 最も重要度が高かったのは、「教育施策」（番号24）である。



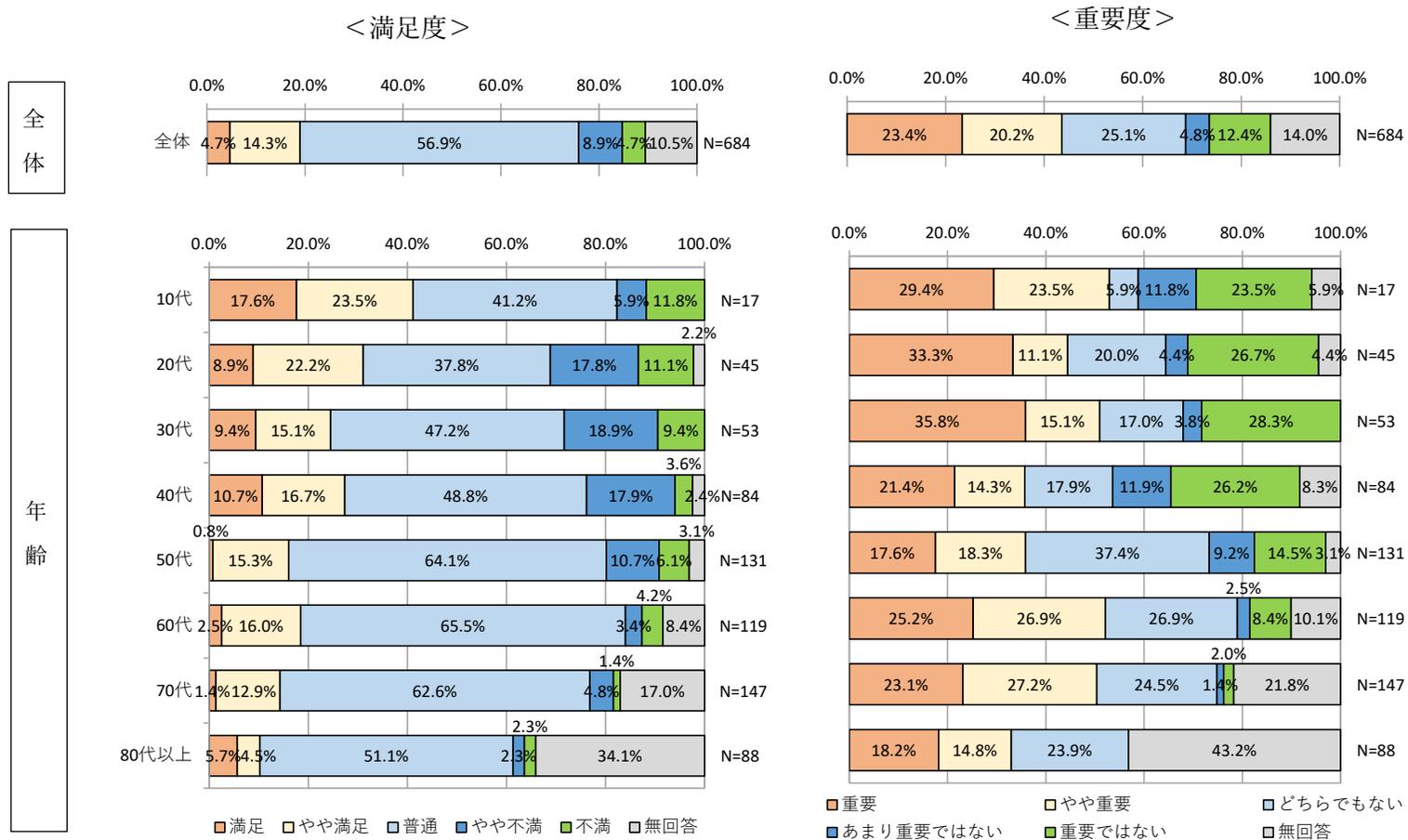
■「人権、教育、文化」スコア分析

■「人権、教育、文化」満足度、重要度平均値

| | 現行計画の取組 | 現在の満足度 | 今後の重要度 |
|----|------------------------------|--------|--------|
| 24 | 小中学校などの教育環境整備 | 0.06 | 0.43 |
| 25 | 生涯を通じて学習するための環境整備 | 0.00 | 0.39 |
| 26 | 文化活動やスポーツ・レクリエーション活動ができる環境整備 | -0.02 | 0.32 |
| 27 | 近所の人たちと支えあいながら暮らせる環境整備 | -0.05 | 0.32 |
| 28 | 歴史的資源や文化財の保存や活用への取り組み | 0.02 | 0.30 |
| 29 | すべての人の人権が尊重される社会環境整備 | 0.01 | 0.33 |
| 30 | 男女がともに活躍できる社会環境整備 | 0.00 | 0.24 |

「小中学校などの教育環境整備」

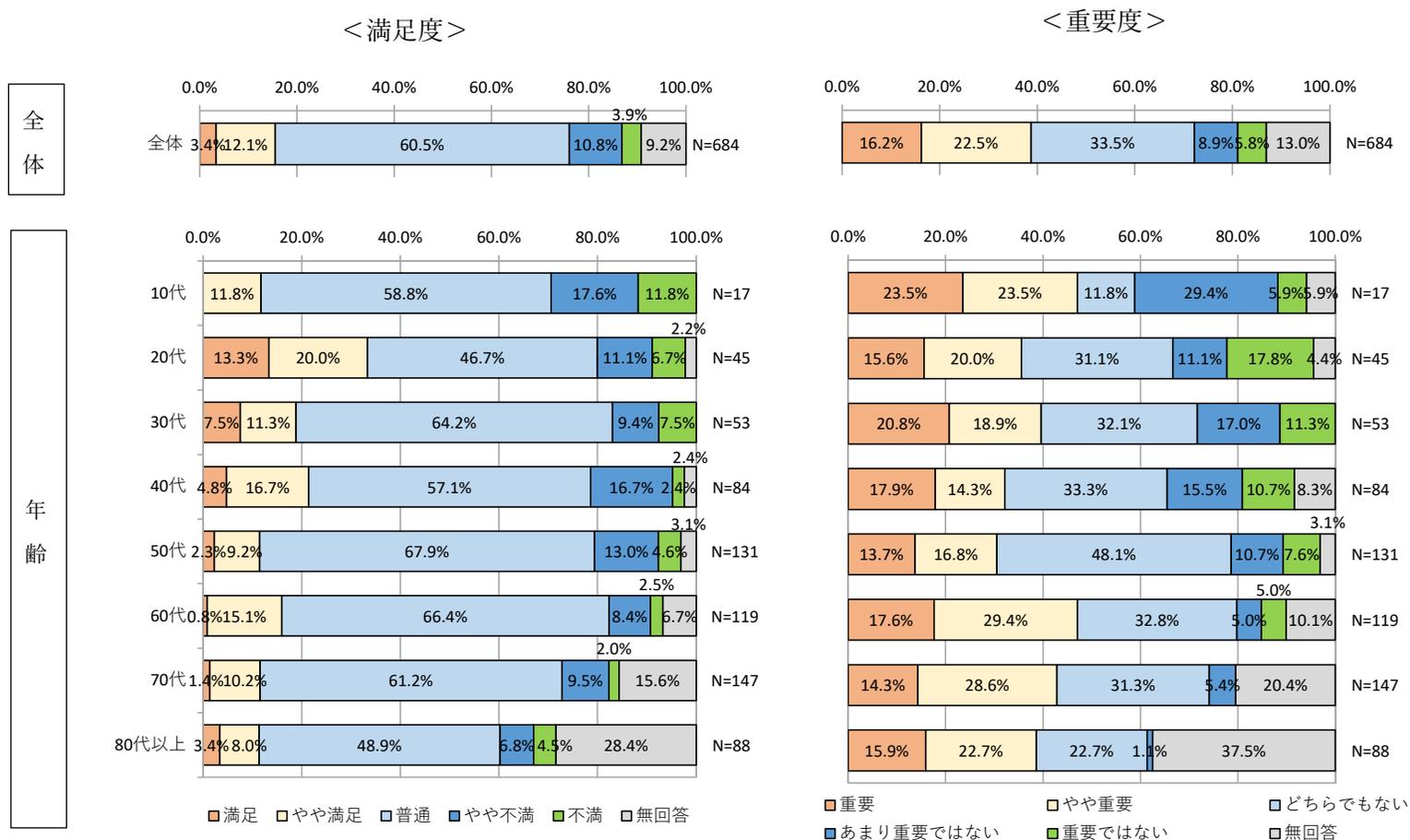
- 重要度がもっと高かった「教育施策」については、10~40代の満足度が高い。



■「小中学校などの教育環境整備」年齢別集計

「生涯を通じて学習するための環境整備」

- 2番目に重要度が高かった「生涯学習施策」については、どの年齢層も重要性を感じているが、高齢者ほど満足度が低い傾向にある。

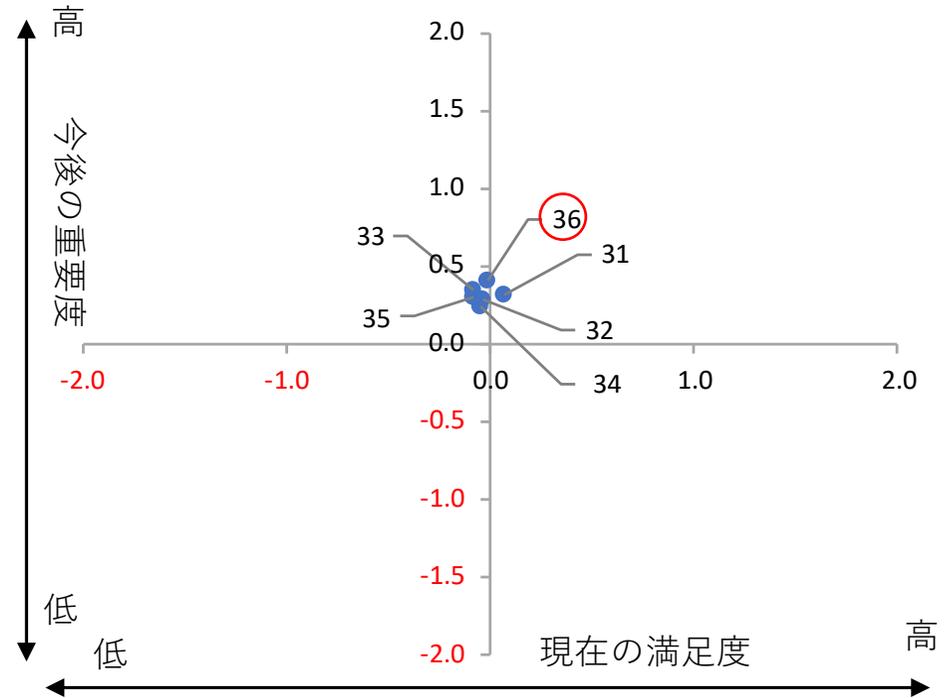


■「生涯を通じて学習するための環境整備」年齢別集計

5. 協働、行政経営、情報化

スコア分析

- 重要度は全体に高いが、満足度は中央（普通）に集まりがちである。
- 最も重要度が高かったのは、「町職員資質向上施策」（番号36）である。



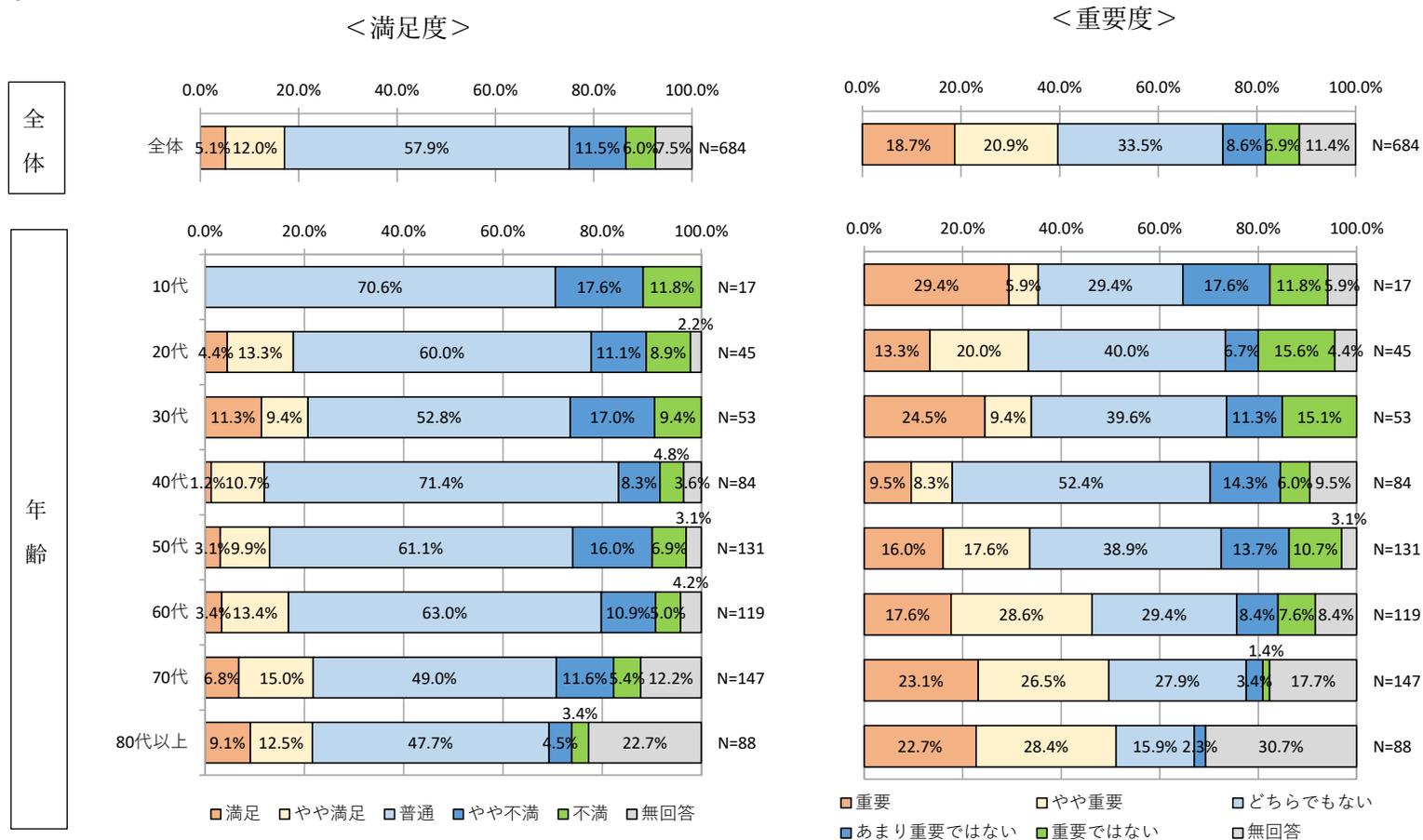
■「人権、教育、文化」満足度、重要度平均値

| | 現行計画の取組 | 現在の満足度 | 今後の重要度 |
|----|-----------------------------------|--------|--------|
| 31 | 広報紙やホームページなどによる町の行政情報の提供や公表への取り組み | 0.07 | 0.31 |
| 32 | 住民主体のまちづくりの推進 | -0.04 | 0.29 |
| 33 | 行財政改革の取り組み | -0.08 | 0.35 |
| 34 | デジタル技術を活用した取り組み | -0.04 | 0.23 |
| 35 | 近隣市町村と連携した広域的な行政サービスへの取り組み | -0.08 | 0.30 |
| 36 | 住民に対する町職員の対応や職員資質の向上への取り組み | -0.01 | 0.41 |

■「協働、行政経営、情報化」スコア分析

「住民に対する町職員の対応や職員資質の向上への取り組み」

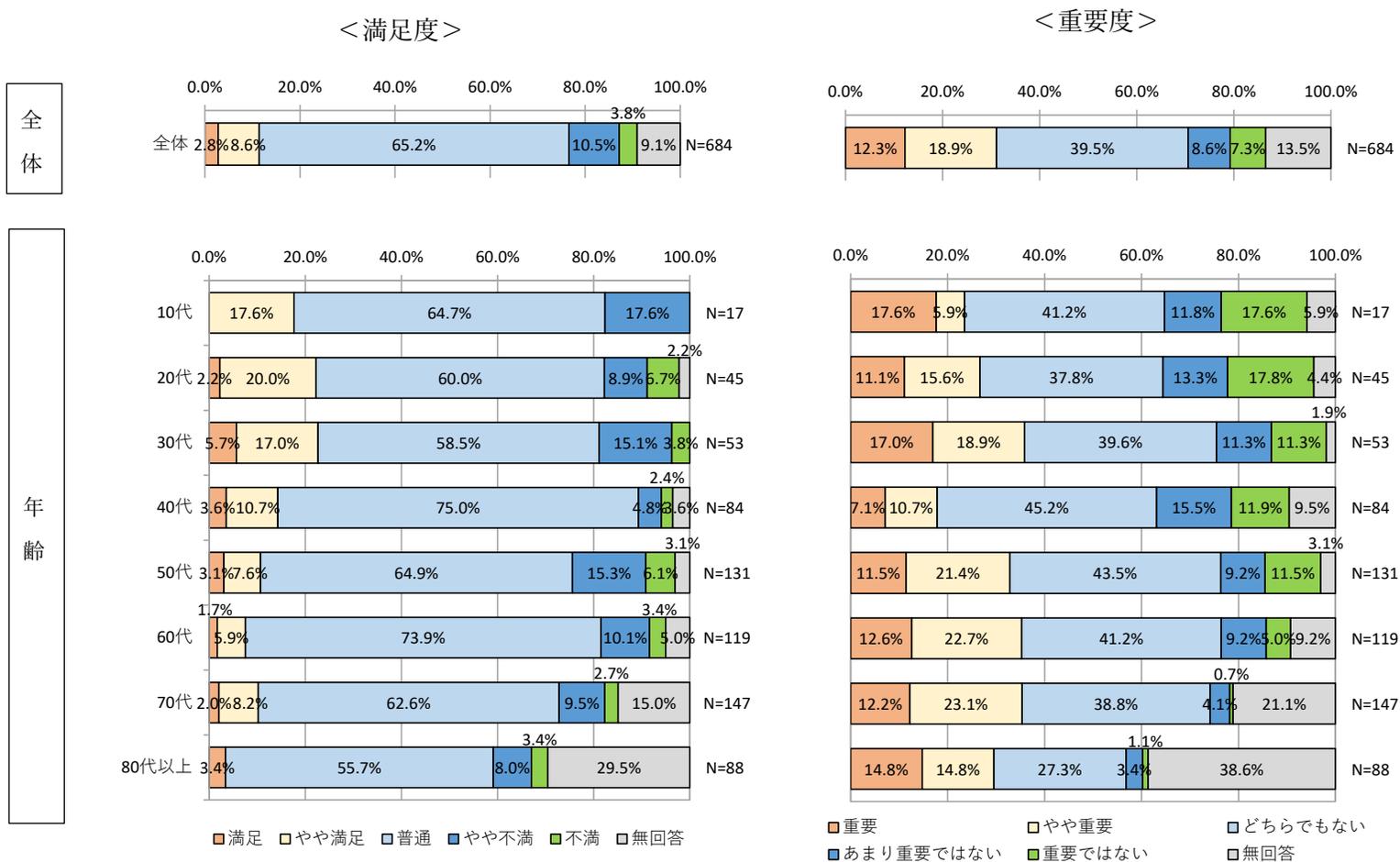
- 重要度がもっと高かった「職員資質向上施策」については、10代の満足度が低いものの、その他の世代では年齢による満足度の差はあまりない。



■「住民に対する町職員の対応や職員資質の向上への取り組み」年齢別集計

「デジタル技術を活用した取り組み」

- 「デジタル施策」については、どの年代も重要性を感じており、同様の傾向である。

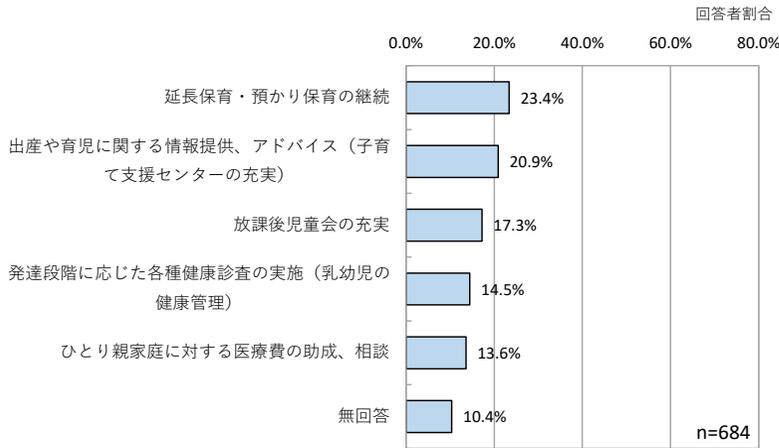


■「デジタル技術を活用した取り組み」年齢別集計

V. 今後の太子町のまちづくりについて(充実してほしい施策)

1. 子育て

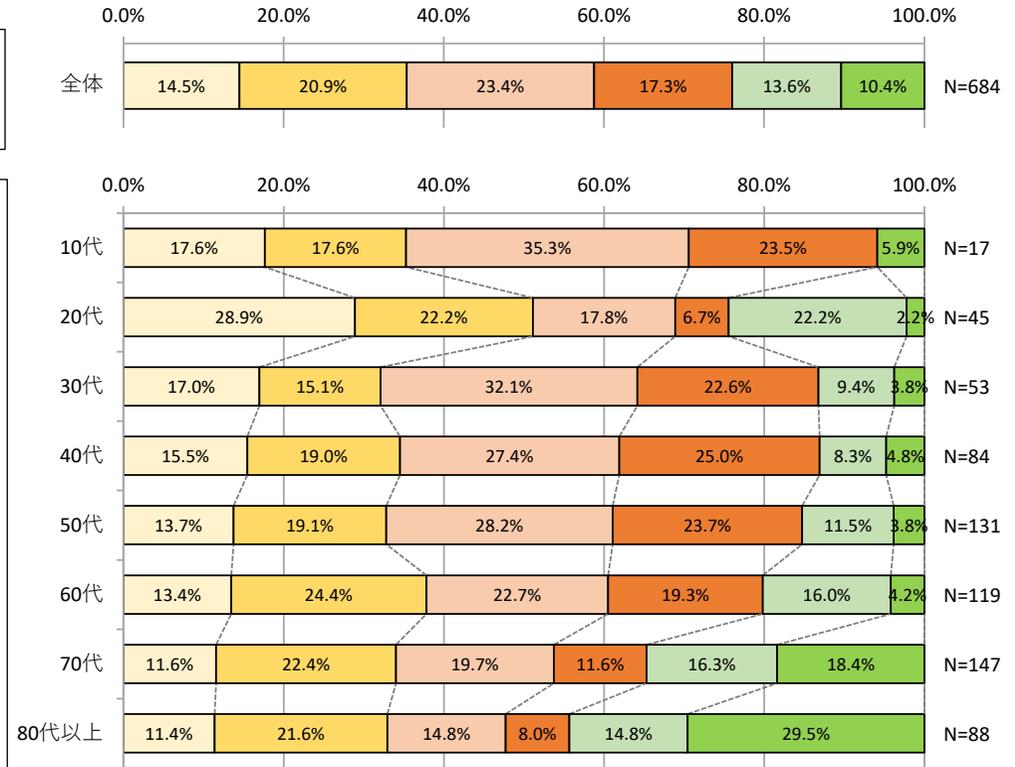
- 全体的に最も要望が高かったのは「延長保育や預かり保育継続」であるが、20代では「各種健康診査」や「出産・育児等の情報提供」の要望が高い。



■充実してほしい施策(子育て)

全体

年齢

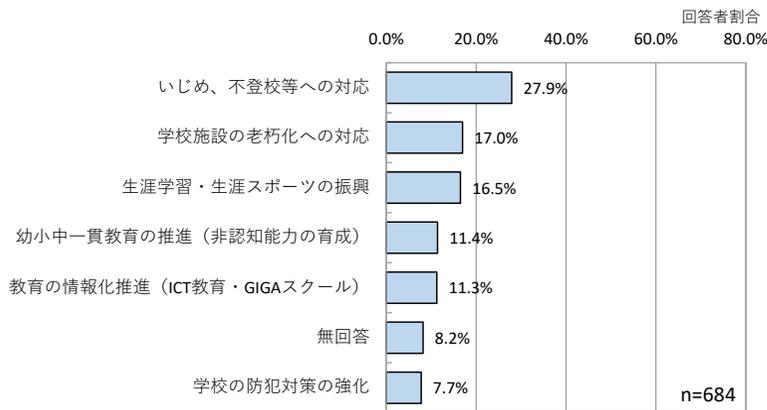


- 発達段階に応じた各種健康診査の実施(乳幼児の健康管理)
- 出産や育児に関する情報提供、アドバイス(子育て支援センターの充実)
- 延長保育・預かり保育の継続
- 放課後児童会の充実
- ひとり親家庭に対する医療費の助成、相談
- 無回答

■充実してほしい施策(子育て 年齢別集計)

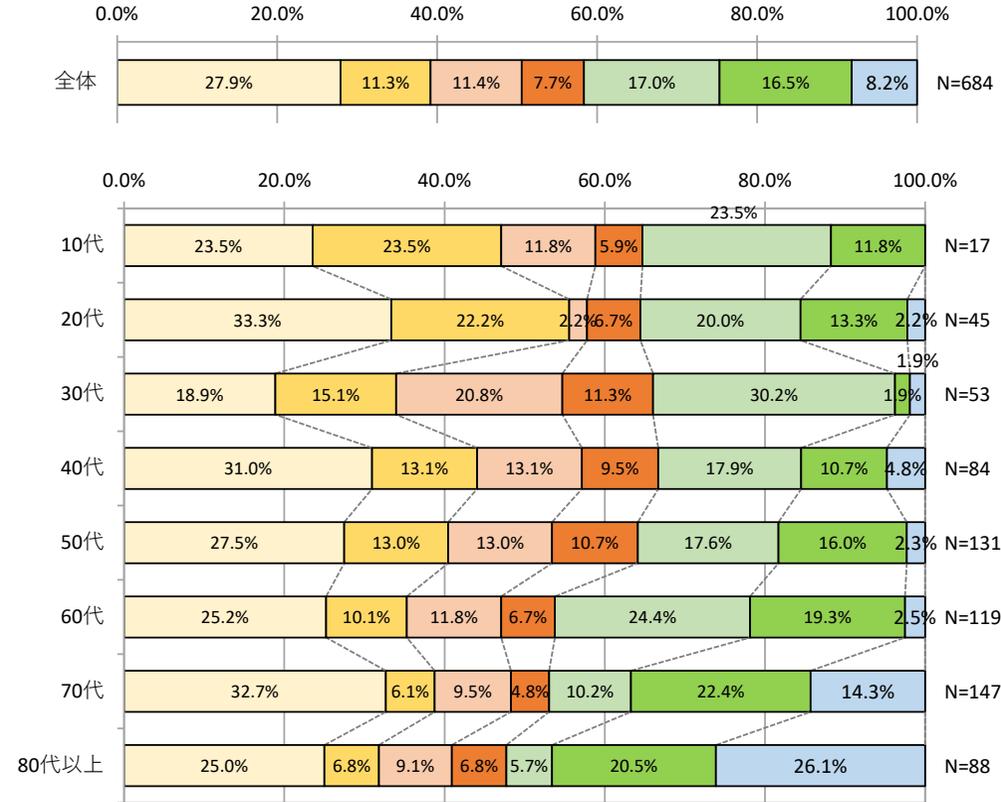
2. 学校教育・生涯学習

- 全体的に最も要望が高かったのは「いじめ、不登校対応」であるが、30代では「学校施設の老朽化」の要望が高い。



■ 充実してほしい施策(学校教育・生涯学習)

全体
年齢

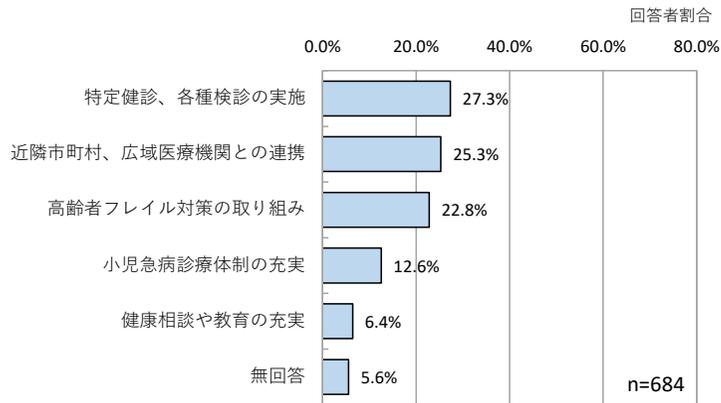


- いじめ、不登校等への対応
- 教育の情報化推進 (ICT教育・GIGAスクール)
- 幼小中一貫教育の推進 (非認知能力の育成)
- 学校の防犯対策の強化
- 学校施設の老朽化への対応
- 生涯学習・生涯スポーツの振興
- 無回答

■ 充実してほしい施策(学校教育・生涯学習 年齢別集計)

3. 健康づくり

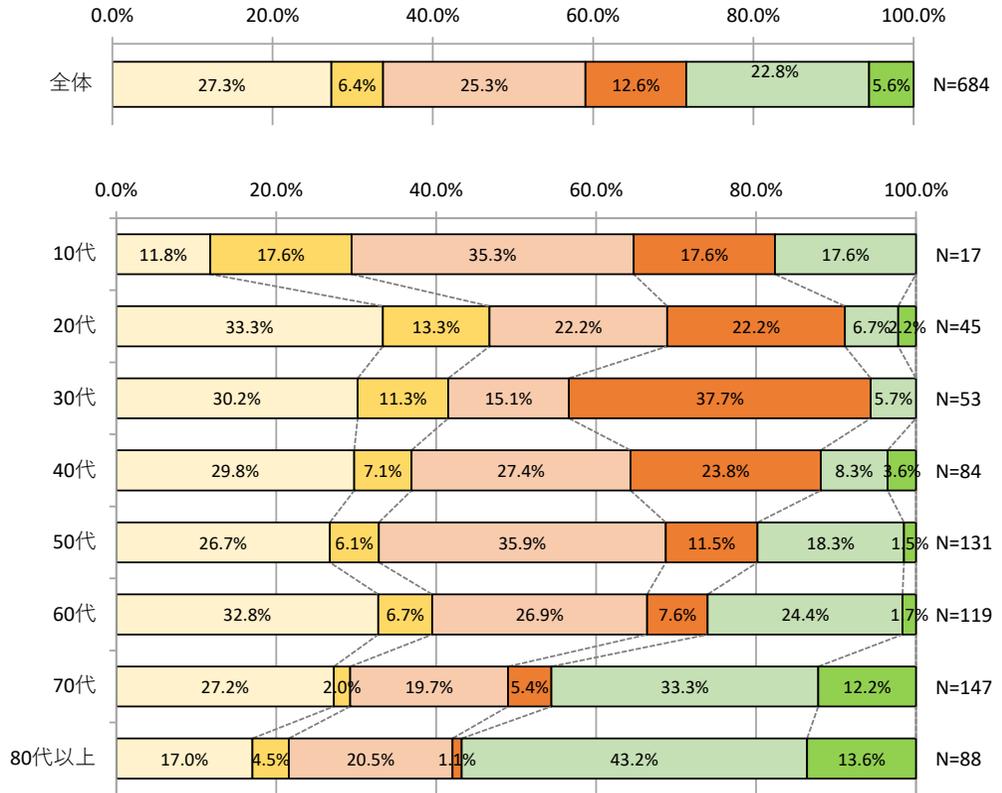
- 全体的に最も要望が高かったのは「特定検診、各種検診の実施」であるが、10代や50代では「近隣市町村、広域医療機関との連携」、30代では「小児急病診療体制の充実」、70代や80代以上では「高齢者フレイル対策の取り組み」の要望が高い。



■ 充実してほしい施策(健康づくり)

全体

年齢



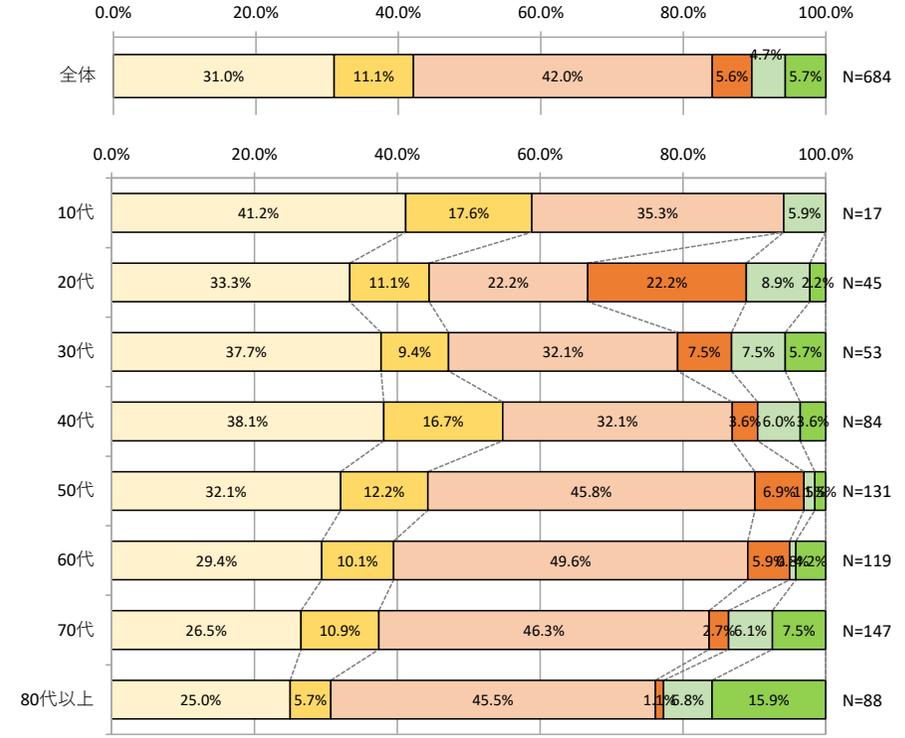
- 特定健診、各種検診の実施
- 健康相談や教育の充実
- 近隣市町村、広域医療機関との連携
- 小児急病診療体制の充実
- 高齢者フレイル対策の取り組み
- 無回答

■ 充実してほしい施策(健康づくり 年齢別集計)

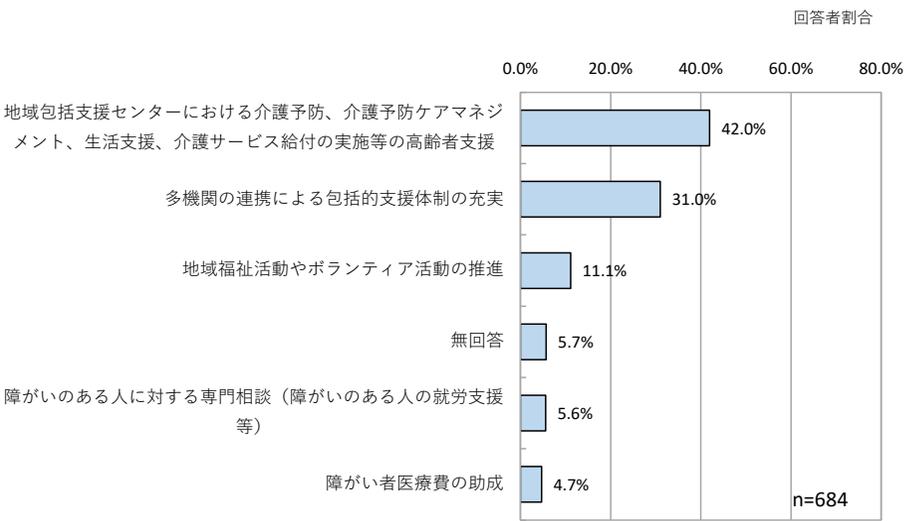
4. 地域福祉

- 全体的に最も要望が高かったのは「地域包括支援センターにおける介護予防等」であるが、10～40代では「他機関の連携による包括的支援体制の充実」の要望が高い。

全体
年齢



- 多機関の連携による包括的支援体制の充実
- 地域福祉活動やボランティア活動の推進
- 地域包括支援センターにおける介護予防、介護予防ケアマネジメント、生活支援、介護サービス給付の実施等の高齢者支援
- 障がいのある人に対する専門相談（障がいのある人の就労支援等）
- 障がい者医療費の助成
- 無回答

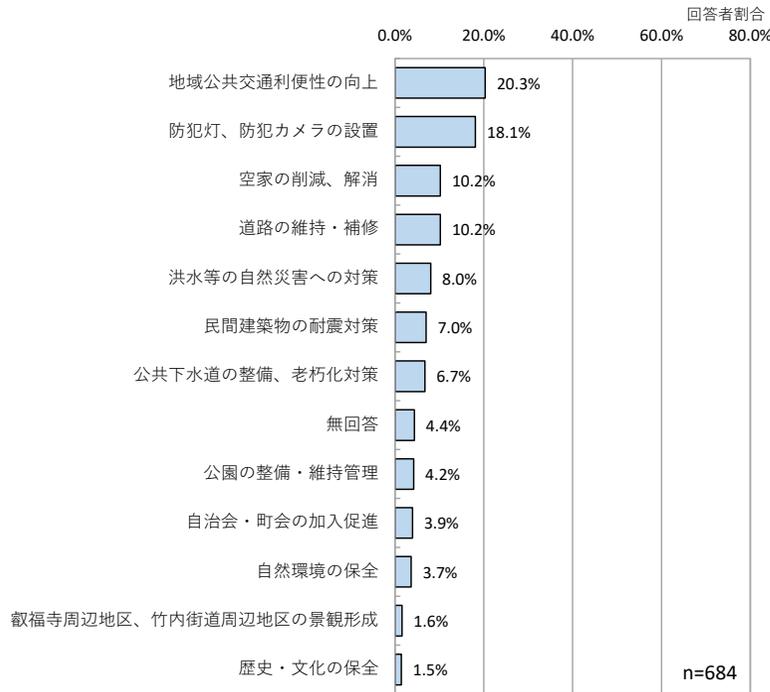


■ 充実してほしい施策（地域福祉）

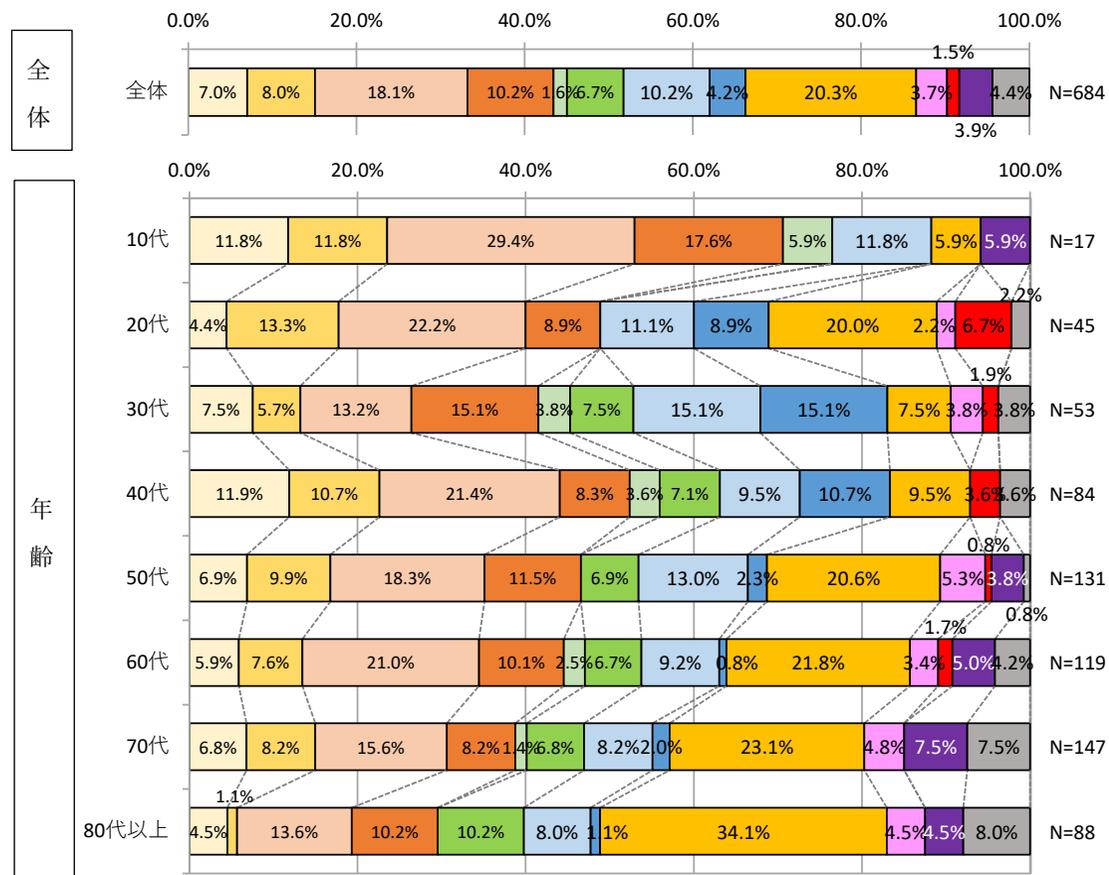
■ 充実してほしい施策（地域福祉 年齢別集計）

5. 安全・安心、住環境

- 全体的に最も要望が高かったのは「地域公共交通利便性の向上」であるが、10代、20代、40代では「防犯灯、防犯カメラの設置」の要望が高い。
- 「地域公共交通利便性の向上」は高齢者ほど要望が高くなる傾向がある。



■ 充実してほしい施策 (安全・安心、住環境)

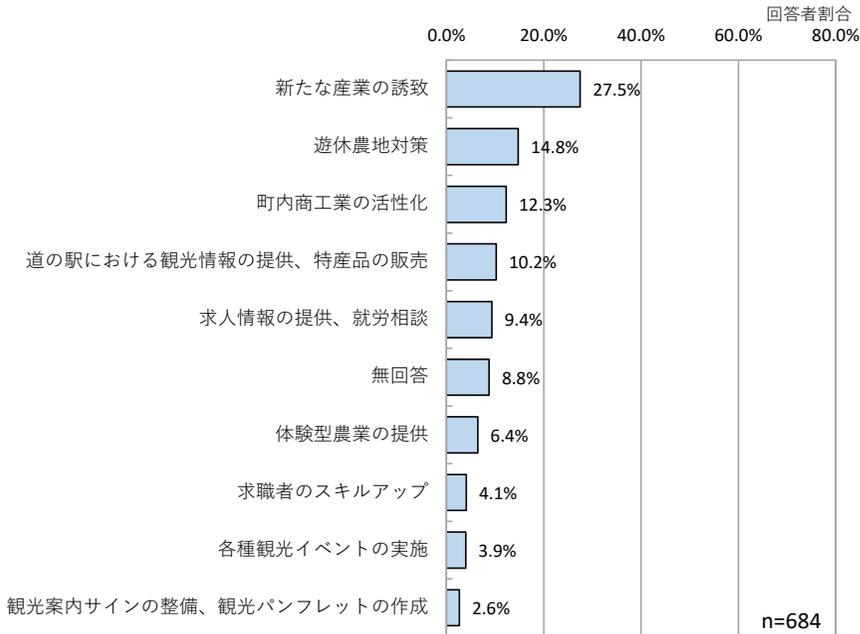


- 民間建築物の耐震対策
- 防犯灯、防犯カメラの設置
- 空家の削減、解消
- 洪水等の自然災害への対策
- 道路の維持・補修
- 公園の整備・維持管理
- 自治会・町会の加入促進
- 自然環境の保全
- 叡福寺周辺地区、竹内街道周辺地区の景観形成
- 公共下水道の整備、老朽化対策
- 地域公共交通利便性の向上
- 歴史・文化の保全
- 無回答

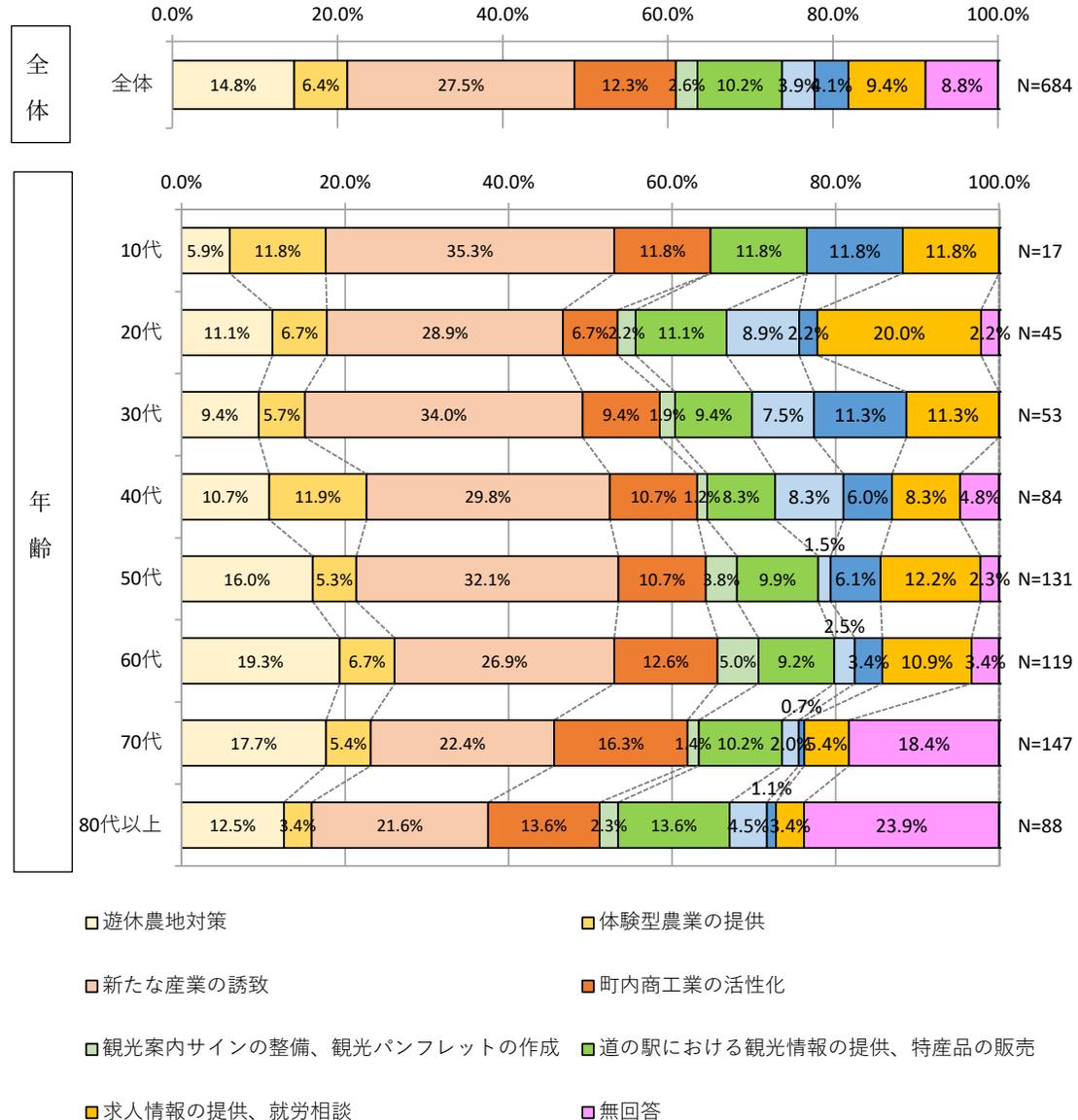
■ 充実してほしい施策 (安全・安心、住環境 年齢別集計)

6. 働く場、交流

- 全体的に最も要望が高かったのは「新たな産業の誘致」であり、全世代を通じて要望が高い。



■ 充実してほしい施策(働く場、交流)



■ 充実してほしい施策(健康づくり 年齢別集計)